

平成26年行政事業レビューシート

(復興庁)

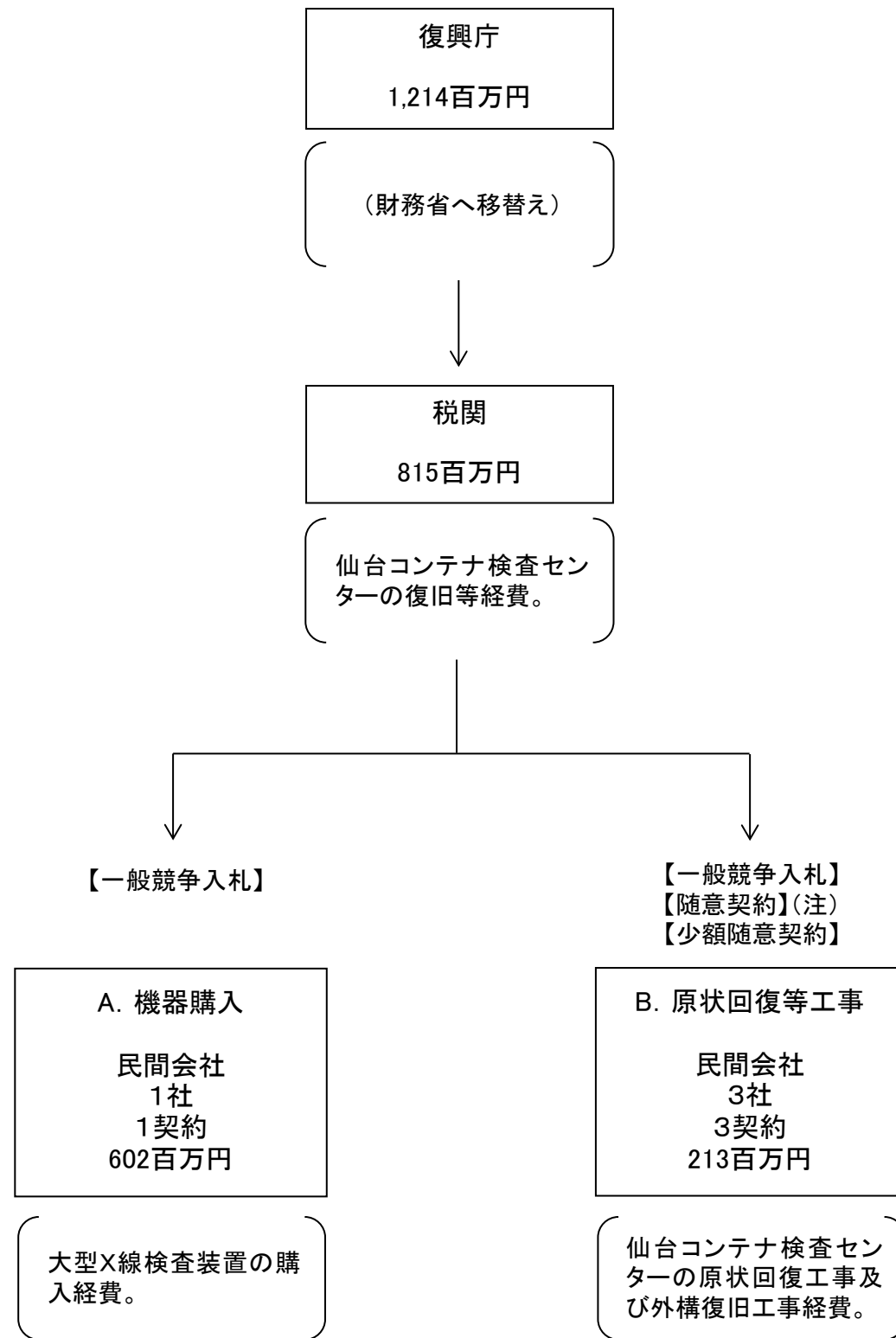
事業名	監視取締機器等復旧経費		担当部局庁	復興庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 大野 秀敏		
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	政策:復興施策の推進 施策:東日本大震災からの復興に係る施策の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	関税法等		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災における津波により甚大な被害を受けた仙台コンテナ検査センターを早期に復旧させることにより、不正薬物・銃器等の社会悪物品、テロ関連物品及び知的財産侵害物品の取締・検査体制を震災前の状態に回復させる。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	東日本大震災により使用不能となった仙台コンテナ検査センターの復旧等を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	1,214	-	-	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
	計		-	-	1,214	-	-	
	執行額		-	-	815	-	-	
執行率(%)		-	-	67.1%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (26年度)
	大型X線検査装置等復旧		成果実績	台	-	-	1	-
			目標値	台	-	-	1	-
			達成度	%	-	-	100	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	大型X線検査装置等復旧		活動実績	台	-	-	1	-
			当初見込み	台	-	-	1	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	施設の復旧にかかったコスト (執行実績÷復旧施設数)		単位当たりコスト	百万円	-	-	815	-
			計算式	/	-	-	815百万円 /1施設	-
平成26・27年度 予算内訳 (単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	-	-	-	-				
	計	-	-					

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	コンテナ貨物等の大型貨物に対する水際取締り及び物流の円滑化の両立を図るため配備しているものであり、被災地域の地元団体等から早期復旧の要望が寄せられているところ、当該機器の復旧により、荷主のコスト削減と迅速な通関が可能となり、被災地域経済の振興に資するものである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	契約にあたっては、 ①一般競争入札を実施 ②少額随意契約については、複数社から見積りを徴収することにより競争性を確保している。これによりコスト削減に努めている。 不用率については、入札の結果不用が発生したもの及び建屋の復旧について費用を折半したことによるものである。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	コンテナ貨物等の大型貨物に対する水際取締り及び物流の円滑化の両立を図るため配備しているものであり、検査対象貨物を破壊することなく、隠匿された不正薬物等の有無を的確かつ迅速に確認するために活用している。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—			
	事業番号	類似事業名		所管府省・部局名	
点検・改善結果	点検結果		<ul style="list-style-type: none"> ・大型X線検査装置は、コンテナ貨物等の大型貨物に対する水際取締り及び物流の円滑化の両立を図るため配備しているものであり、通常のX線検査装置では透過することができない検査対象貨物を破壊することなく、隠匿された不正薬物等の有無を的確かつ迅速に確認するために活用している。 ・他港において、同検査装置による検査を端緒の一つとして大量の覚醒剤等を摘発していることから、大型X線検査装置の整備は必要である。 ・復旧にあたっては、過度な仕様とならないよう配備場所の状況を踏まえた上で仕様を決定した。また、一般競争入札を実施することにより、競争性の確保に努めた。 		
	改善の方向性	—			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
—	事業目的を平成25年度予算において達成しており、平成26年度以降は予算計上をしていない。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
—	事業目的を平成25年度予算において達成しており、平成26年度以降は予算計上をしていない。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成23年	—	平成24年	—	平成25年	新25-021

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:百万円)



(注)「随意契約」については、検査センター建屋原状回復工事について、建物所有者である契約相手方との費用折半により改修工事を行ったものである。

A.機器購入			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
購入	Smiths Heimann GmbH	602			
計		602	計		0
B.原状回復等工事			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
現状回復工事	三井住友トラスト・パナソニックファイナンス 株	175			
計		175	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックごと
 に最大の金額が
 支出されている者
 について記載す
 る。費目と使途の
 双方で実情が分
 かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.機器購入

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	Smiths Heimann GmbH	大型X線検査装置購入	602	2	

B.原状回復等工事

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三井住友トラスト・パナソニック ファイナンス(株)	コンテナ検査センター建屋原状回復工事	175	随意契約 (特命)	
2	(有)隆登緑化建設	コンテナ検査センター外構復旧工事	37	2	48%
3	石井ビル管理(株)	路面ライン引き及び銘板設置工事	0.9	随意契約	

(注)落札率については、同種の他の契約の予定価格を類推させる恐れがあるため記載していない。